

重要度

★★★★

第3節 ローマ字

1 ローマ字の書き方

道路標識や駅名など、私たちの身近でもよく見られるローマ字について、見ていきましょう。

ローマ字

日本語を表記するのに使われている文字。大文字と小文字が二十六個ずつある表音文字で、母音と子音を組み合わせる。

エジプトで生まれたヒエログリフがアラビアに伝わり、そこからローマまで伝わった文字で、おもにヨーロッパやアメリカで使われている。

母音・子音 [↓P. 368] ヒエログリフ [↓P. 342]

英語などと同じ文字を使って、日本語の言葉を表したものなんだ。



大文字

A B C D E
F G H I J
K L M N O
P Q R S T
U V W X Y
Z

ふつう、人の名前や国名、地名などを書く場合、初めの一文字は大文字で書く。地名などでは、すべて大文字で書くこともある。

小文字

a b c d e
f g h i j
k l m n o
p q r s t
u v w x y
z

COLUMN
わし

大文字や小文字、ローマ字表のローマ字は「ブロック体」とよばれる。この他、文字をくずしたような形の「筆記体」があり、看板や雑誌の見出しなどに使われることがある。

【ローマ字表】^{ひょう}

大文字/小文字	A/a	I/i	U/u	E/e	O/o			
	あ a	い i	う u	え e	お o			
K/k	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
S/s	さ sa	し shi	す su	せ se	そ so	しゃ sha	しゅ shu	しょ sho
T/t	た ta	ち chi	つ tsu	て te	と to	ちゃ cha	ちゅ chu	ちょ cho
N/n	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
H/h	は ha	ひ hi	ふ fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
M/m	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
Y/y	や ya		ゆ yu		よ yo			
R/r	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
W/w	わ wa				を (o)			
G/g	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
Z/z	ざ za	じ ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ ja	じゅ ju	じょ jo
D/d	だ da	ぢ (ji)	づ (zu)	で de	ど do	ぢゃ (ja)	ぢゅ (ju)	ぢょ (jo)
B/b	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
P/p	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo
N/n	ん n							

※()は、べつのかなと同じ発音をするため、べつのかなのつくり方で書くもの。

重要度

★★★★

母音

日本語では、「ア・イ・ウ・エ・オ」にあたる音。「ア・イ・ウ・エ・オ」の音以外に子音と組み合わせられて、さまざまな音を作る。

ローマ字では、大文字では「A・I・U・E・O」、小文字では「a・i・u・e・o」と書く。

★★★★

子音

日本語では、母音の「ア・イ・ウ・エ・オ」以外の音。母音の前について、さまざまな音を表す。

ローマ字では、ローマ字表の「K/k」以降の文字。

学習のコツ

例

かさ…
kasa

皿…
sara

★★★★

ローマ字のつづり方

ローマ字のつづり方には、いくつかのきまりがある。

のばす音を書く場合

「おかあさん」の「かあ」のようにのばす音は、のばす音の母音の上に「ー」をつけて表すか、母音字を並べて表す。

例

okāsan
okaasan (お母さん)
bōshi
boushi (ぼうし)
onēsan
oneeesan (お姉さん)
tōri
toori (通り)

ただし、「ー」を使わずに、母音字を並べて表すのが一般的な言葉もある。

例

eiga
(映画)

eiyo
(栄養)

chiiisai
(小さい)

COLUMN
くわしく

のばす音は「長音」、つまる音は「そく音」、はねる音は「はつ音」とよばれる。のばす音の記号「ー」は、「^」と書くこともある。

つまる音（小さい「っ」）を書く場合

「ねっこ」の「っ」のように「っ」とつまる音は、次の子音を重ねて書く。

例
ne^ねkk^こo
(根っこ)

ki^きtt^てe
(切手)

shi^しpp^ぽo
(しっぽ)

zass^{ざっし}hi^し
(雑誌)

はねる音（大きい「ん」）を書く場合

「ほん」の「ん」のように「ん」とはねる音は、「n」と書く。

例
hon^{ほん}
(本)

shin^{しん}kan^{かん}sen^{せん}
(新幹線)

はねる音のあとに「a・i・u・e・o・y」が続く場合

「ほんや」の「んや」のように、「ん」というのはねる音のあとに「a・i・u・e・o・y」で始まる音

が続くとき、その前に「,」を入れる。

例
hon^{ほん},ya^や
(本屋)

shin^{しん},ai^{あい}
(親愛)

kin^{きん},yobi^{やい}
(金曜日)

pan^{ぱん},ya^や
(パン屋)

「いを入れないと、「ほにや」「しんあい」にようび」「ぱにや」と読めてしまふんだ。



文の書き始めや固有名詞を書く場合

文の書き始めや、人名・地名などの固有名詞の初めの文字は、大文字で書く。また、地名や国名の全てを大文字で書く場合もある。

固有名詞
↓
P. 407

例
Kyō wa hare da.
(今日は晴れた。)

Natsume Sōseki
(夏目漱石)

Tōkyō
(東京)

Nippon
(日本)

YOKOHAMA
(横浜)

KYŌTO
(京都)

助詞の「を・は・へ」を書く場合

助詞の「を・は・へ」は「o・wa・e」と書く。

助詞 ↓ P. 430

例

Boku wa ani da.
(ぼくは 兄だ。)

Hon o yomu.
(本を 読む。)

Gakkō e iku.
(学校へ 行く。)

一文を書く場合

ローマ字で文を書くときは原則として、単語ごとに全て分けて書く。

単語 ↓ P. 398

例

Umi e iku.
(海へ行く。)

Yuki ga furu.
(雪が降る。)

Asu wa ame da.
(明日は雨だ。)

記号を使う場合

文の終わりや、略された語のあとにつける。

例

Boku no hon da.
(ぼくの本だ。)

Y.M.
(「山田真実」
〈Yamada Mami〉)
の頭文字)

文の切れ目や言葉を並べるときに入れる。

例

Hai, Tanaka desu.
(はい、田中です。)

Sensei, sayōnara.
(先生、さようなら。)

Budō, kaki, nashi.
(ぶどう、かき、なし。)

?

疑問文の終わりにつける。

例

Dō suru?
(どうする?)

Dare?
(だれ?)

Itsu iku?
(いつ行く?)

例

"Anata no namae wa?"
 (「あなたの名前は？」)

"Noda Yūki desu."
 (「野田勇樹です。」)



漢字やひらがな、カタカナを
 読み書きできない外国の人が
 き、ローマ字は便利だね。

人の言った言葉(会話文)を書くときにつける。

例

Hayaku!
 (早く！)

Mā, kirei!
 (まあ、きれい！)

Tomare!
 (止まれ！)

！
 感動や命令の文のあとにつける。

重要度
 ★★★★★

ローマ字入力

コンピュータのキーボードなどを使って日本語を打ちこむ際に、ローマ字を使って行うこと。ローマ字を書く際のきまりと入力の際のきまりは、異なる場合もある。



【キーボードのローマ字・記号部分の例】

2 ローマ字とパソコン

ローマ字は、パソコンなどの電子機器で日本語をローマ字入力する場合にも欠かせないものです。ローマ字入力のしかたを見ていきましょう。

入力方法がいくつかあるひらがなの入力

ひらがなには、ローマ字入力の際にいくつかの入力方法がある場合があります。

例

し → SI / SHI
ち → TI / CHI
つ → TU / TSU
ふ → HU / FU
じ → ZI / JI
しゃ → SYA / SHA
しゅ → SYU / SHU
しょ → SYO / SHO
ちゃ → TYA / CHA
ちゅ → TYU / CHU
ちょ → TYO / CHO
じゃ → ZYA / JA
じゅ → ZYU / JU
じょ → ZYO / JO

小さい「あ・い・う・え・お」「や・ゆ・よ・っ」の入力

⑦ 小さい「あ・い・う・え・お」「や・ゆ・よ・っ」を入力するときは、最初に「X」か「L」の文字を打つ。

図解でわかる

ローマ字表にはない入力方法①

あ	い	う
XA	XI	XU
LA	LI	LU
え	お	
XE	XO	
LE	LO	
や	ゆ	よ
XYA	XYU	XYO
LYA	LYU	LYO
っ		
XTU		
LTU		

小さい文字を単独で入力する方法だね。



① 小さい「っ」は、ローマ字表記と同様、次にくる子音を二回打つことでも入力できる。

例
日記
↓
NIKKI
と取っ手
↓
TOTTE
りっぱ立派
↓
RIPPA

はねる音の入力
「みかん」の「ん」のように「ん」とはねる音は、
Nを二回打つ。
ローマ字表記と、ローマ字入力ではちがう
ことも多いんだね。



「ぢ・づ」の発音は「じ・ず」と同じなので、
ローマ字表記は「ji」「zu」となるよ。



のばす音の入力

⑦「学校」の「こう」のように「コ」とのばす音は、
ひらがなの表記どおりに入力する。

例
ケーキ
▼
KE-KI
スープ
▼
SU-PU
スキー
▼
SUKI-

①かたかなの「ー」とのばす音は、キーボードの「キー」を打つ。

例
学校
▼
GAKKOU
お母さん
▼
OKAASANN
氷
▼
KOORI
野球
▼
YAKYUU

例
鼻血
▼
HANADI
三月
▼
MIKADUKI
湯飲み茶碗
▼
YUNOMI
DYAWANN

「ぢ・づ」「ぢゃ・ぢゅ・ぢょ」の入力
「ぢ・づ」は「D・DU」、「ぢゃ・ぢゅ・ぢょ」
は「DYA・DYU・DYO」と入力する。

例
みかん
▼
MIKANN
今夜
▼
KONNYA
三個
▼
SANNKO

助詞の「は・を・へ」の入力

助詞の「は・を・へ」は「HA」「WO」「HE」と入力する。

助詞
[↓ P. 430]

例

今日は

KYOUHA

か ものを
買い物

KAIMONOWO

デパートへ

DEPA-TOHE

句読点の入力

句読点「。」は、「(」「)」のキーを打って入力する。

例

か ものを
買い物には、

KAIMONONIHA、

母と行く。

HAHATOIKU。



特別な発音の入力

おもに外来語の言葉をかたかなで入力する場合、次のようにつづりを入力する。

図解でわかる
ローマ字表にはない入力方法②

うい	うえ			
WI	WE			
例 ウィーク▶	WI-KU			
うゎ	うゐ	うゑ	うゑ	うゑ
VA	VI	VU	VE	VO
例 ヴァイオリン▶	VATORINN			
ふあ	ふい	ふゆ	ふえ	ふお
FA	FI	FYU	FE	FO
	FYI		FYE	
例 ファミリー▶	FAMIRI-			
てい	でい	しえ	ちえ	じえ
THI	DHI	SYE	TYE	JYE
		SHE	CHE	JE
例 ミルクティー▶	MIRUKUTHI-			

